健康きのこ 特集 市場復活に向け始動

アガリクス・メシマコブ・樟芝

安全確保を前面にアガリクス市場再生へ

アガリクス・ブラゼイ協議会 会長 竹口 雅之氏 (エス・エス・アイ取締役)

業界が一丸となりアガリクス市場の再生を目指すとしてアガリクス・ブラゼイ協議会が発足し、今月13日に開かれた第一回総会でエス・エス・アイ取締役の竹口雅之氏が会長に就任した。大きなダメージを受けた市場の再構築には絶大な努力が必要とされるのは必然。そこで就任にあたりの竹口会長インタビューを試み、本格的な市場復活に向けての意気込みと二番煎薬事件であるアガリクスの安全性のPRや信頼回復についての具体策などを後の取り組みと展望を聞いた。

—アガリクス・ブラゼイ協議会会長に就きましての抱負を聞かせてください

ガリクスという素材の安全性・有用性をもう一度、マスコミを通じて消費者の方々に伝えていこうと、事務局を含め22社が集まりました。アガリクスに対して情熱をもって事業に取組んできた方々を主軸に協同し活動していきたいと思います。この思い協議会設立にあたりアガリクスの安全性を前提とした栄養成分を含む様々な効果が期待できる素材はまだ多くあります。本格的な復活の第一歩として、最終製品の安全性を高めるとともに、専門家による「アガリクスの関連情報」の作成、新聞、雑誌、ホームページ、ケーブルテレビ等を通じて、食品業界、マスコミ、消費者、行政、学会、研究機関、医療機関、薬剤師会、栄養士会、ドクター、ナース、ヘルスメイト、ヘルスアドバイザーなどの方々に対して、アガリクスの安全性・有用性を正しく理解していただくための情報を提供していきたいと思っています。

—アガリクスの信頼回復には全業界が協力しなければなりませんが、協議会としての具体的な方策を教えてください

アガリクス・ブラゼイは出麹菌研究所による「ヒメマツタケ」と食品添加物の酵母エキス原料を目指していくようにしたいと思っています。

—アガリクスの信頼回復には全業界が協力しなければなりませんが、協議会としての具体的な方策を教えてください

アガリクス・ブラゼイは出麹菌研究所による「ヒメマツタケ」と食品添加物の酵母エキス原料を目指していくようにしたいと思っています。

—最後に、健康食品業界全体に向けてひと言お願いします

先日、国立健康・栄養研究所で健康食品に関する情報提供を進めていきます。併せて消費者向けの小冊子を作成し、メディアや団体などの協力を得ながら各方面に配布できる体制を整えていきます。小冊子の第2版は法律の改正に伴い最も消費者に近づけるよう、連絡会の情報を盛り込んだ内容にしたいと思っております。あわせまして、薬事審査機関における小動物試験への強化提言を推進していきます。

以上のような基本として、より高いレベルの安全性を目指していきたいと思います。できれば、これらの団体との共ムページやチラシ、冊子などを通じて伝えていきたいと思っております。

「サプリメント」や「補助食品」などの表現は、「ことばなる吸収」を進めていかなければのでしょうか?

この点は現在、協議会の中で最も議論されています。まず、ホームページを通じてアガリクスの安全性・有用性に関する情報を提供していくことを目的としています。2年間にわたる研究情報や、これらの素材が補完代替医療として有効であるかどうかを紹介する。

—当面のアガリクス市場の展望について、どのように考えていますか?

今年の夏までにある程度の市場回復が図られれば、今の状態から脱却できるとわたくしは考えています。これを実現するために、各社の協力を得ての場、各社の協力を得ての場、各社の協力を得ての場